

第1日 6月1日(土)

午前の部(9:30-11:40) (研究発表30分 質疑応答15分)

研究発表

① 太田和則(日本学術振興会特別研究員) (9:30-10:15)

線分の比喩における可知界の区分

—プラトン『国家』509d6-511e5—

※総会(10:20-10:50)

② 松浦高志(東京大学大学院) (10:50-11:35)

古典期以前のギリシア語動詞組織の変遷

※JASCA編集委員会 152教室

午後の部(13:00-15:00)

③ 田中あや(慶應義塾大学大学院) (13:00-13:45)

名前の規約性と類似性

—プラトン『クラテュロス』の433c-435dの解釈をめぐって—

④ 篠原道法(立命館大学非常勤講師) (13:50-14:35)

前4世紀以降のアテナイ社会における外国人の自己認識

—墓碑の分析を通じて—

⑤ 齊藤安潔(愛知教育大学非常勤講師) (14:40-15:25)

後期プラトン哲学における神の役割

—魂の浄め・神まねび・神への奉仕に見る敬虔概念の展開

パネルディスカッション (15:30-17:30)

"Our JASCA"

※懇親会(18:00-20:00)

於 東京大学駒場キャンパス生協食堂

(会費 5000円 学部・大学院生 3000円)

(付記 委員会は5月31日午後5時より、  
東京大学駒場キャンパス18号館4階会議室にて行います)

第2日 6月2日(日)

午前の部(9:30-11:55)

研究発表

- ⑥ 南雲泰輔(日本学術振興会特別研究員) (9:30-10:15)  
ルティリウス・ナマティアヌスとクルスス・プブリクス  
—後期ローマ帝国における公的伝達システム運用の一側面—
- ⑦ 西村洋平(日本学術振興会特別研究員) (10:20-11:05)  
プロティノス感覚論における非受動と共受動
- ⑧ 浅川英理子(東海大学非常勤講師) (11:10-11:55)  
境界を越える翼——ギリシア神話における神の翼の意味について

※書評委員会(哲 152 教室, 史 154 教室, 文 156 教室)

午後の部(13:40-16:55)

- ⑨ 芳賀京子(東北大学准教授) (13:40-14:25)  
アゴラクリトス作《ラムヌスのネメシス》
- ⑩ 足立広明(奈良大学准教授) (14:30-15:15)  
「異教」女性聖人ヒュパティア: その「神のごとき魂」について
- ⑪ 日向太郎(東京大学准教授) (15:20-16:05)  
キュンティアの亡霊——プロペルティウス第4巻第7歌について——
- ⑫ 金山弥平(名古屋大学教授) (16:10-16:55)  
ソクラテスの最後の言葉

※編集委員会(17:00-19:00) 152 教室